

第35回一都五州日本語教師合同研修会 山中公使挨拶

- 皆様、おはようございます。在ブラジル日本国大使館で総括公使を務めている山中と申します。第35回「一都五州日本語教師合同研修会」の開講にあたり、大使館を代表して一言ご挨拶申し上げます。
- はじめに、今年も本研修会が、多くの先生方の参加の下、開催されましたことを、お喜び申し上げます。これも参加者の皆様の熱意と講師の先生方のご協力、また準備に当たられたブラジリア日本語モデル校の先生方のご尽力あってのことと思っております。
- 日本人伯移民110周年という記念すべき年であった本年も残すところ僅かとなりましたが、来年2019年はアマゾン移住90周年、2020年にはリオから東京へのオリンピックの引き継ぎが完了します。また、来年5月1日に天皇陛下の代替わりがあり、6月には大阪でG20（主要20カ国・地域首脳会議）も開催される予定となっており、伯政府要人の訪日も見込まれています。

- こうした大きな節目を活用し、私ども日本政府としては、世界最大の日系社会と連携協力しつつ、日本に関心を持ってくださる方々が一層増え、両国間の様々な分野で、更に頻繁に人や情報の行き来がなされるようにしていきたいと思っています。そこで鍵を握る事柄の1つは、先生方が日々熱心に取り組んでおられる日本語教育の充実であると言えます。
- 今回の研修は、国際交流基金サンパウロ日本文化センターから久野（くの）先生という素晴らしい講師を迎え、来年のブラジリア日本祭りにおいて、日本語ミニレッスンができるような準備をして頂けると伺っています。本件はもともと当館から国際交流基金にお願いしたことが発端となって始まったものであり、久野先生、日本語普及協会の先生方のご理解・ご尽力に心より感謝申し上げます。
- 今回の研修会が、各学校の取組の更なるレベルアップと日本語学習者の更なる増加につながり、引いては日伯の友好関係の更なる強化に資することを心より祈念しまして、日本大使館からのご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。